

指尖容積脈波				S105	
				担当部署	
脈波				生理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→指尖容積脈波検査			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		体動・拳動、振戦、指尖・趾尖の欠損			
検査受付時間		8 : 45～17 : 30			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		1) 仰臥位で検査部位を心臓と同じ高さにする。 2) 測定部位のマニキュアや付け爪は取り除いておく。 3) 検査前の運動は避ける。 4) 検査前は安静にしておく。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体(指尖、趾尖)	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド不可			
検体受入不可基準		1) 測定部位にマニキュアや付け爪を付けている場合 2) 測定部位の指尖、趾尖が欠損している場合 3) 振戦がある場合 4) 検査に同意を得られない患者			

保管検体の保存期間		特記事項なし				
検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		90 分				
生物学的基準範囲		波高(height)：基線から縮期峰までの高さ 正常値：指尖で 3.0～5.0mV/V、趾尖で 2.5～4.5mV/V				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		緊張、頻脈、不整脈				
臨床的意義		脈の伝達に伴う血管の病変(末梢循環障害)をみることができる。 動脈硬化の評価、閉塞性動脈硬化症、バージャー病、脈なし病(高安動脈炎)などの血管に存在する器質的狭窄・閉塞性病変や、レイノー症候群などの機能的病変をみるのに有用である。				